

ともに挑む。ともに実る。

MIZUHO みずほ銀行

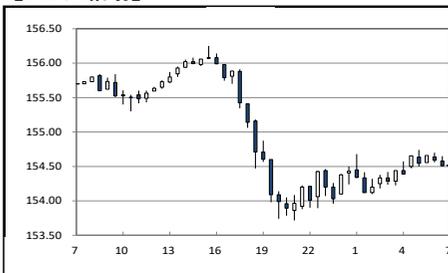
## みずほCustomer Desk Report 2025/01/28号(As of 2025/01/27)

金融市場部 為替営業第二チーム

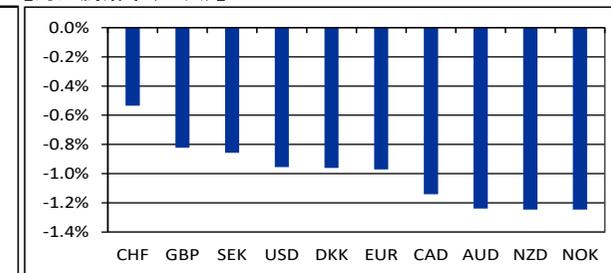
【昨日の市況概要】			公示仲値		155.60
	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	GBP/USD	AUD/USD
TKY 9:00AM	155.72	1.0466	163.04	1.2459	0.6293
SYD-NY High	156.25	1.0534	163.39	1.2523	0.6315
SYD-NY Low	153.72	1.0454	161.65	1.2426	0.6275
NY 5:00 PM	154.52	1.0491	163.39	1.2460	0.6291
	終値	(前日比)	終値	(前日比)	
NY DOW	44,713.58	289.33	日本2年債	0.7000%	▲0.0100%
NASDAQ	19,341.83	▲612.46	日本10年債	1.2200%	▲0.0100%
S&P	6,012.28	▲88.96	米国2年債	4.1972%	▲0.0641%
日経平均	39,565.80	▲366.18	米国5年債	4.3334%	▲0.0864%
TOPIX	2,758.07	7.03	米国10年債	4.5333%	▲0.0831%
ソコ日経先物	39,125.00	▲1,405.00	独10年債	2.5030%	▲0.0415%
ロンドンFT	8,503.71	1.36	英10年債	4.5850%	▲0.0455%
DAX	21,282.18	▲112.75	豪10年債	4.4090%	▲0.0630%
ハンセン指数	20,197.77	131.58	USDJPY 1M Vol	9.84%	1.20%
上海総合	3,250.60	▲2.03	USDJPY 3M Vol	9.77%	0.66%
NY金	2,738.40	▲40.50	USDJPY 6M Vol	9.77%	0.45%
WTI	73.17	▲1.49	USDJPY 1M 25RR	▲1.24%	Yen Call Over
CRB指数	305.34	▲4.49	EURJPY 3M Vol	9.85%	0.74%
ドルインデックス	107.34	▲0.10	EURJPY 6M Vol	9.85%	0.47%

【昨日の指標等】					
Date	Time	Event	結果	予想	
1月27日	10:30	中 PMI 製造業/非製造業	1月	49.1/50.2	50.1/52.2
	14:00	日 景気一致指数・確報	11月	115.4	-
	18:00	独 IFO企業景況感指数	1月	85.1	84.8
	21:46	米 建設許可件数・確報	12月	1482k	-
	21:46	米 住宅建設許可(前月比)・確報	12月	-0.7%	-
	22:30	米 シカゴ連銀全米活動指数	12月	0.15	-0.06
1月28日	00:00	米 新築住宅販売件数	12月	698k	675k
【本日の予定】					
Date	Time	Event	予想	前回	
1月28日	09:30	豪 NAB企業信頼感	12月	-	-3
	09:30	豪 NAB企業景況感	12月	-	2
	22:30	米 耐久財受注速報(前月比) / 除輸送用機器	12月	0.6%/0.3%	-1.2%/-0.2%
1月29日	00:00	米 コンファレンスボード消費者信頼感	1月	105.9	104.7

## 【ドル円相場】



## 【対円騰落率(日次)】



## 【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	153.50-155.30	1.0400-1.0550	160.50-162.50

## 【マーケット・インプレッション】

昨日のドル円はトランプ政権による関税政策懸念と中国AI新興企業の台頭による米ハイテク株の下落を受け、全般的にリスクオフの展開に。海外時間では、米金利や株式市場が大幅に下落。円全面高となり、ドル円は153.72まで下押しした。

本日のドル円は上値重い展開を予想する。引き続き株式市場ではリスク回避の流れが継続すると思われ、ドル円相場の重しとなるだろう。またトランプ氏による新たな関税政策に関する発言がなされた場合、市場の警戒感は一層強まり、さらなるドル売り円買いもあり得ると考える。

東京	本日のドル円は155.72レベルでオープン。午前中にトランプ大統領がコロンビアに対し25%の関税賦課を決定すると、米国の貿易政策を巡る懸念が再燃。これを受けリスク回避の円買いが強まり、ドル円は一時155.30まで下落。ただその後コロンビアが不法移民の強制送還の受け入れに合意したことで、米国はコロンビアに対する関税を撤回。ドル円も午前の下げを全戻しする形で上昇し、156.08レベルで海外へ渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、156.08レベルでオープン。トランプ関税と某中国系AIに関する報道を受けてリスク回避の流れが続き、153.72まで売られる。その後反発となり、結局154.06レベルでNYに渡った。
ニューヨーク	海外市場のドル円は155円台半ばでスタート。中国新興企業が発表した人工知能モデルが従来の欧米IT企業の優位性を崩すとの懸念が広がり、世界株安を背景としたリスクオフの円買いが優勢となり、153.72まで下落。その後は下げ渋り、154.06レベルでNYオープン。午前中に発表された米12月新築住宅販売件数が予想を上回ったことや、低下していた米金利が低下幅を縮小する動きを受け反発し、154.74まで戻す。午後は堅調な米5年債の入札結果が上値を抑え、154.60付近を挟んだ上値重い推移が続き、154.52レベルでクロス。一方、海外市場のユーロドルは1.05台前半でスタート。ポジション調整の売りから1.0454まで下落する場面もあったが、その後は米金利の低下や独1月IFO企業景況感指数が予想を上回った事を受け1反発し、その後1.0520レベルでNYオープン。午前中は米金利が低下幅を縮小する動きに伴ったドルの買戻しが上値を抑え、1.0490付近までじり安で推移。午後は1.0480付近を中心とした動意乏しい推移が続き、1.0491レベルでクロス。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなされるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。